



# 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月9日

上場会社名 長野計器株式会社

上場取引所 東

コード番号 7715 URL <http://www.naganokeiki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 依田 恵夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 角龍 徳夫

TEL 03-3776-5333

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	11,791	12.9	513	85.1	598	154.7	224	130.0
29年3月期第1四半期	10,446	9.0	277	32.8	234	61.8	97	77.7

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 586百万円 ( %) 29年3月期第1四半期 296百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	11.60	
29年3月期第1四半期	5.04	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	45,379	20,316	43.7
29年3月期	44,809	19,936	43.5

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 19,844百万円 29年3月期 19,503百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		10.00		10.00	20.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		10.00		10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,118	16.5	1,333	102.1	1,433	124.1	606	99.4	31.18
通期	47,048	6.4	2,323	25.5	2,393	24.5	1,166	12.5	60.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	19,432,984 株	29年3月期	19,432,984 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	45,418 株	29年3月期	45,383 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	19,387,581 株	29年3月期1Q	19,387,736 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における世界経済は、米国においては製造業・非製造業ともに景況感が改善し、欧州経済は引き続き堅調に推移しております。中国経済においても小幅ながら改善がみられるなど、世界経済全体としては緩やかな回復基調を維持しております。しかしながら地政学リスクによる警戒感から、先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

わが国経済においては、企業収益の向上や堅調な雇用・所得情勢を背景に、設備投資や生産活動は緩やかな回復基調が続いておりますが、為替の変動等先行きについては不透明な要素が存在しております。

このような状況のもと、当社グループでは、圧力計測分野においては半導体業界向や建設機械業界向などの需要が増加しました。さらに欧州における合弁会社での稼働の貢献に加えて、自動車業界を主要取引先としているダイカスト製品の需要増加により、売上高は117億91百万円（前年同期比12.9%増）となりました。損益面につきましては、売上高増加の影響により営業利益は5億13百万円（前年同期比85.1%増）、経常利益は5億98百万円（前年同期比154.7%増）となりました。

税金費用及び非支配株主に帰属する四半期純利益の計上等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2億24百万円（前年同期比130.0%増）となりました。

なお、従来その他事業セグメントに区分しておりましたダイカスト事業の金額的重要性が増したため、当第1四半期よりダイカスト事業セグメントとして集計しております。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

## 圧力計事業

圧力計事業では、産業機械業界向、プロセス業界向の売上が減少したものの、F A空圧機器業界向、半導体業界向、空調管材業界向の売上が増加いたしました。また、米国子会社においては、産業機械業界向、プロセス業界向の売上が減少したものの、F A空圧機器業界向、半導体業界向の売上が増加いたしました。

この結果、圧力計事業の売上高は53億4百万円（前年同期比3.5%増）となりました。

## 圧力センサ事業

圧力センサ事業では、半導体業界向、産業機械業界向、空調管材業界向の売上が増加し、量産品である建設機械用圧力センサ、自動車搭載用圧力センサの売上也増加いたしました。米国子会社においては、プロセス業界向の売上が減少したものの、半導体業界向、建設機械用圧力センサの売上が増加いたしました。また、ドイツにおける合弁会社での自動車搭載用圧力センサの売上が増加いたしました。

この結果、圧力センサ事業の売上高は34億78百万円（前年同期比30.4%増）となりました。

## 計測制御機器事業

計測制御機器事業では、電力業界向け油圧ポンプユニットの売上が減少したものの、自動車・電子部品関連業界向のエアリークテスター及び工場生産自動化設備用の空気圧機器の売上が増加いたしました。

この結果、計測制御機器事業の売上高は12億99百万円（前年同期比3.4%増）となりました。

## ダイカスト事業

ダイカスト事業では、自動車業界を主要取引先としているダイカスト製品の売上が増加いたしました。

この結果、ダイカスト事業の売上高は11億57百万円（前年同期比32.8%増）となりました。

## その他事業

その他事業では、自動車用電装品の売上が増加いたしました。

この結果、その他事業の売上高は5億52百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は453億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億70百万円増加いたしました。主な要因は、投資有価証券の時価評価等による増加によります。

負債は250億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億90百万円増加いたしました。主な要因は、支払手形及び買掛金が5億37百万円、繰延税金負債が3億71百万円増加したものの、流動負債のその他が7億83百万円減少したことによります。

また、純資産は203億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億79百万円増加いたしました。主な要因は、その他有価証券評価差額が増加したことによります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末から0.2ポイント増加し、43.7%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月11日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想を修正しました。

詳細については、本日（平成29年8月9日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,675,196	6,428,391
受取手形及び売掛金	9,409,762	9,396,901
電子記録債権	1,107,524	1,283,333
たな卸資産	7,885,116	8,081,770
繰延税金資産	530,961	585,876
その他	1,552,537	881,797
貸倒引当金	△182,660	△175,678
流動資産合計	25,978,439	26,482,393
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,572,148	10,597,888
減価償却累計額	△8,341,002	△8,355,758
建物及び構築物(純額)	2,231,146	2,242,129
機械装置及び運搬具	18,397,913	18,243,196
減価償却累計額	△16,262,996	△16,271,089
機械装置及び運搬具(純額)	2,134,917	1,972,106
土地	4,388,590	4,337,181
リース資産	775,022	785,352
減価償却累計額	△281,874	△300,636
リース資産(純額)	493,147	484,715
建設仮勘定	495,140	580,503
その他	4,058,826	4,085,243
減価償却累計額	△3,901,051	△3,915,720
その他(純額)	157,774	169,522
有形固定資産合計	9,900,717	9,786,160
無形固定資産		
リース資産	201,804	187,563
その他	670,167	627,956
無形固定資産合計	871,972	815,519
投資その他の資産		
投資有価証券	6,097,092	6,787,464
長期貸付金	417,157	96,565
退職給付に係る資産	18,872	21,016
繰延税金資産	479,210	348,478
その他	1,132,508	1,129,447
貸倒引当金	△86,826	△87,353
投資その他の資産合計	8,058,014	8,295,618
固定資産合計	18,830,703	18,897,298
資産合計	44,809,143	45,379,691

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,243,481	4,781,273
短期借入金	5,796,973	6,059,842
1年内返済予定の長期借入金	1,482,880	1,446,674
リース債務	166,791	149,728
未払法人税等	940,295	541,130
賞与引当金	794,338	1,048,702
その他	2,674,479	1,890,510
流動負債合計	16,099,239	15,917,862
固定負債		
長期借入金	4,833,275	4,866,692
リース債務	506,549	488,921
繰延税金負債	840,335	1,211,448
役員退職慰労引当金	209,573	201,062
退職給付に係る負債	2,272,783	2,254,441
資産除去債務	32,949	32,949
その他	78,155	90,193
固定負債合計	8,773,621	9,145,709
負債合計	24,872,861	25,063,571
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,380,126	4,380,126
資本剰余金	4,448,737	4,448,737
利益剰余金	9,245,995	9,277,015
自己株式	△26,962	△26,987
株主資本合計	18,047,896	18,078,891
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,268,298	2,742,449
為替換算調整勘定	△318,552	△504,026
退職給付に係る調整累計額	△494,175	△472,851
その他の包括利益累計額合計	1,455,569	1,765,571
非支配株主持分	432,815	471,656
純資産合計	19,936,281	20,316,120
負債純資産合計	44,809,143	45,379,691

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	10,446,584	11,791,989
売上原価	7,564,087	8,489,652
売上総利益	2,882,497	3,302,337
販売費及び一般管理費	2,604,982	2,788,744
営業利益	277,515	513,592
営業外収益		
受取利息	11,511	14,932
受取配当金	64,070	57,011
為替差益	—	59,234
持分法による投資利益	10,173	26,734
その他	59,430	24,391
営業外収益合計	145,186	182,304
営業外費用		
支払利息	51,045	51,172
為替差損	91,852	—
その他	44,930	46,541
営業外費用合計	187,828	97,713
経常利益	234,872	598,183
特別利益		
固定資産売却益	—	128
特別利益合計	—	128
特別損失		
固定資産売却損	—	15,774
固定資産除却損	3,483	1,240
特別損失合計	3,483	17,015
税金等調整前四半期純利益	231,389	581,296
法人税、住民税及び事業税	149,782	152,519
法人税等調整額	△24,630	153,556
法人税等合計	125,151	306,076
四半期純利益	106,237	275,220
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,476	50,324
親会社株主に帰属する四半期純利益	97,761	224,895

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	106,237	275,220
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△193,259	475,088
為替換算調整勘定	△209,053	△190,379
退職給付に係る調整額	27,272	21,324
持分法適用会社に対する持分相当額	△27,414	4,905
その他の包括利益合計	△402,454	310,939
四半期包括利益	△296,217	586,159
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△302,286	536,390
非支配株主に係る四半期包括利益	6,069	49,768

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	圧力計	圧力 センサ	計測制御 機器	ダイ カスト	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	5,126,642	2,667,851	1,256,782	871,639	9,922,916	523,668	10,446,584	—	10,446,584
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	174	1,828	84	—	2,086	1,519	3,606	△3,606	—
計	5,126,817	2,669,680	1,256,866	871,639	9,925,003	525,187	10,450,190	△3,606	10,446,584
セグメント利益又は損失(△)	△39,103	153,516	79,567	70,613	264,594	12,182	276,776	738	277,515

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び自動車用電装品事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額738千円は、セグメント間取引消去の金額となります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	圧力計	圧力 センサ	計測制御 機器	ダイ カスト	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する売上高	5,304,129	3,478,866	1,299,067	1,157,106	11,239,169	552,819	11,791,989	—	11,791,989
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	110	2,520	291	—	2,921	59	2,980	△2,980	—
計	5,304,239	3,481,386	1,299,359	1,157,106	11,242,091	552,878	11,794,970	△2,980	11,791,989
セグメント利益	66,043	148,373	118,791	162,579	495,788	14,827	510,615	2,976	513,592

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び自動車用電装品事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額2,976千円は、セグメント間取引消去の金額となります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する情報

当第1四半期連結会計期間から、「その他」に含まれていた「ダイカスト」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。